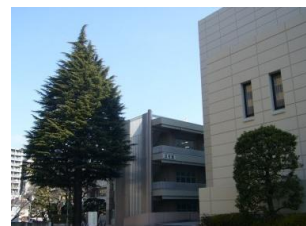


FD NEWSLETTER



CONTENTS

- ルーブリックってなに？
FD推進委員会小委員会委員長
総合教育研究部教授
西村 祐子
- 2017 年度「学生による授業アンケート」
(後期) 集計結果
「新入生セミナー」を振り返る
総合教育研究部准教授
内藤 寿子
- 学生が選ぶ
ベスト・ティーチング賞授賞式
- 平成 29 年度第 2 回FD研修会報告
- 平成 30 年度新規採用教員
オリエンテーション開催のお知らせ

ルーブリックってなに？

FD推進委員会小委員会委員長
総合教育研究部教授 西村 祐子

2005 年、中央教育審議会からはじめてFDが提唱されたとき、私を含め多くの教員は「FDって何？」としばらくキツネにつままれた思いだった。だが次々と要求される「FD」の作業。学生の側からの授業評価、授業内容や方法の検討、学位や教育の「質保証」まで、怒涛のような勢いだ。今また「ルーブリック」による授業評価と達成度の査定という課題が与えられている。人によっては「キュービック」と間違えて、「それなら俺も知っている。学生のときよくやっていた！」といいだす向きもある。だが、ちょっとまってほしい。それじゃない。ルーブリックというのはものさし、評価基準のことだ。よりよいものさしがあれば評価が一致していて達成度にむらがない。「どうしてBなの」という不満に説明を施し、頑張った学生が「なるほど、僕はだからこんなことができるようになったんだ！」という納得感にもつながる。ルーブリック評価は学部や科目によって固有のものさしがつくれる。そこにいかに「深み」や「多角的な評価」をいれられるかが大学教員の腕のみせどころだ。英語に例をとってみよう。

実用英語能力とは、「現実の社会で英語をどのように運用しながら活動し、深い洞察力を発揮できるか」ということだ。それを評価査定するルーブリックとは、社会や学校などの現場で他者の言語（英語）を理解し効果的に用いていく能力となる。理解と流暢さがもとめられ、それは語彙、文法、語法などの理解と習得に支えられている。言語の戦略的使用法を習得すると、言語の相違を乗り越え、コミュニケーションを効果的に作りだしていける。聴衆と目的によって変更を加えたテキストを作り上げる能力も必要だ。場によってフォーマルな言い方、インフォーマルな言い方が必要とされることに気づき理解することも能力だ。身体表現を含めた、言葉以外の言語にたいする気づきも大事だ。文化的な差異に気づく「知的なセンシティブティ」を磨くイディオム、表現、背景への知識なども必要とされる。ディスコースの深い理解となると、概念や思考がいかに文章の構成や文法的結束性、つなぎ言葉などに反映されていくかを習得することも必要だ。

こうなると結構深い理解が必要だ。ただ漠然と「査定」とか「基準」という大雑把なものではなく、多面的な評価基準を考えることこそが大学教育のありかただろう。こうなると「私はFDが嫌いです。」とばかりもいってられない。私も含めて「隠れFDヘイト」の教員は多いと思うが、ほかから無理やり与えられた基準で「やらされている」観が強いからだ。しかし自分が研究している分野とリンクしつつこのものさしをつくることができるのであれば、それ自体が研究の深まりを示すことになり、案外楽しいものになるのかもしれない。むろんそこまでの道のりは長いかもしれないけれど。

2017 年度「学生による授業アンケート」(後期) の集計結果について

2017 年度「学生による授業アンケート」(後期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成 29 年 11 月 6 日 (月) ~ 11 月 25 日 (土)
対象科目	1,632 科目
対象者数	137,371 人 (延べ人数)
実施科目数	1,632 科目
有効回答数	50,905 件 (37.1%)

【質問項目】

Q1. 所属学部学科等

20 : 仏教 19 : 国文 18 : 英米文 17 : 地理 16 : 日本史学
15 : 外国史学 14 : 考古学 13 : 社会学 12 : 社会福祉学
11 : 心理 10 : 経済 9 : 商 8 : 現代応用経済 7 : 法律 A
6 : 法律 B 5 : 政治 4 : 経営 3 : 市場戦略
2 : 診療放射線技術科 1 : グローバル・メディア

Q2. 学年

5 : 4 年 4 : 3 年 3 : 2 年 2 : 1 年 1 : その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11 : 一般入試 10 : 大学入試センター試験利用入試
9 : 一般推薦入試 8 : スポーツ推薦入試 7 : 指定校推薦
6 : 附属校推薦入試 5 : 留学生特別入試
4 : 帰国生特別入試 3 : 編入学試験 2 : その他の試験
1 : 回答しない

Q4. この授業を何回欠席しましたか。

5 : 0 回 4 : 1~2 (半期科目)、1~4 (通年科目) 回
3 : 3~4 (半期科目)、5~9 (通年科目) 回
2 : 5~6 (半期科目)、10~13 (通年科目) 回
1 : 7 (半期科目)、14 (通年科目) 回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

7 : シラバスを見て授業内容に興味を持った
6 : シラバス以外の情報 (友人等) により、授業内容に興味を持った
5 : 履修モデル (コース制等) を見て決めた
4 : 資格の取得

3 : 必修科目または選択必修科目だったから

2 : 時間割 (曜日時限) を考慮して決めた

1 : その他

Q6. この授業の予習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q7. この授業の復習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q6・7 選択肢)

5 : 4 時間以上

4 : 3 時間以上~4 時間未満

3 : 2 時間以上~3 時間未満

2 : 1 時間以上~2 時間未満

1 : 1 時間未満

Q8. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

Q9. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q10. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q8~12 の選択肢は 3 ページに記載)

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 教科書・配付資料等がない授業

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q14・15 の選択肢は 3 ページに記載)

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 板書・スクリーンへの投影がない授業

Q17. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q17 の選択肢は Q21 の後に記載)

Q18. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q20. 授業内容に興味を持っていますか。

Q21. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q8～12・14・15・17・19～21 選択肢)

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

Q22. 教員自由設定質問

Q23. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q24. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目 (Q4・6～21) の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q4 平均値	4.4	4.3	4.2	3.8	3.6
Q6 平均値	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5
Q7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.6
Q8 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.6
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.3
Q10 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.4
Q12 平均値	4.1	4.1	4.2	4.3	3.9
Q13 平均値	4.2	4.2	4.3	4.3	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1
Q17 平均値	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q18 平均値	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q19 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.5
Q20 平均値	3.9	4.0	4.1	4.2	3.6
Q21 平均値	3.8	3.9	3.9	4.0	3.4
有効回答数	21,014	13,581	6,803	2,133	60

【入試形態との関連】

2010 年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率 99.4%）。（表 2 入試形態別の項目別平均値）

表 2 入試形態別の項目別平均値（Q4・6～21）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.3	4.2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.3	4.0	4.1	4.4	4.3
Q6 平均値	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2	1.5	1.5	1.4	1.2	1.4
Q7 平均値	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2	1.6	1.6	1.4	1.3	1.4
Q8 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.3	3.8	4.1	3.9	3.7
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.5	4.7	4.6	4.3
Q10 平均値	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7	4.6	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	4.5	4.3
Q12 平均値	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.4	4.2	4.5	4.2	4.0
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.4	4.3	4.5	4.2	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.5	4.7	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.4	4.6	4.5	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.5	4.3	4.5	4.2	4.0
Q17 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5	4.3	4.6	4.4	4.2
Q18 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.6	4.3	4.5	4.5	4.3
Q19 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3	3.8	4.2	3.7	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.3	4.0	4.3	4.0	3.9
Q21 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.9	4.2	3.8	3.6
有効回答数	24,668	3,801	4,264	1,127	4,697	3,390	561	96	338	391	258

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q4・6~21)

(学部)学科・専攻・部門	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	3.7	4.3	4.3	4.2
Q6 平均値		1.2	1.2	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3
Q7 平均値		1.2	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3
Q8 平均値		3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.9	3.9	3.9
Q9 平均値		4.1	4.1	4.5	4.3	4.3	4.5	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値		4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.6
Q11 平均値		4.2	4.2	4.6	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.6
Q12 平均値		4.0	4.0	4.3	4.0	4.0	4.1	4.3	4.2	4.3
Q13 平均値		4.1	4.1	4.4	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値		4.3	4.3	4.6	4.3	4.3	4.4	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値		4.3	4.3	4.7	4.3	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6
Q16 平均値		4.0	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値		4.2	4.2	4.5	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5
Q18 平均値		4.2	4.2	4.5	4.2	4.2	4.2	4.5	4.5	4.5
Q19 平均値		3.7	3.7	4.0	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	3.9
Q20 平均値		3.6	3.6	3.8	3.7	3.7	3.9	4.1	4.1	4.1
Q21 平均値		3.7	3.7	4.0	3.7	3.6	3.8	3.9	3.8	3.9
有効回答数		1,406			2,065			1,378		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.1	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値		1.3	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.2
Q7 平均値		1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.4	1.2
Q8 平均値		4.0	3.9	4.0	3.8	3.8	4.0	3.8	3.9	3.7
Q9 平均値		4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.7	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値		4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値		4.5	4.6	4.4	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	4.4
Q12 平均値		4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.4	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		4.3	4.4	4.2	4.2	4.1	4.4	4.1	4.2	4.0
Q14 平均値		4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.6	4.4	4.4	4.3
Q15 平均値		4.4	4.4	4.4	4.3	4.1	4.5	4.3	4.2	4.4
Q16 平均値		4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.4	4.1	4.1	4.0
Q17 平均値		4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値		4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.2
Q19 平均値		4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	4.1	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値		4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.1	4.0	3.9	4.0
Q21 平均値		4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	3.8	3.8	3.8
有効回答数		1,018			649			596		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値	1.3	1.4	1.2	1.3	1.2	1.4	1.2	1.2	1.2
Q7 平均値	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0
Q9 平均値	4.3	4.2	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	4.5
Q10 平均値	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	4.6	4.4	4.2	4.5
Q11 平均値	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6
Q15 平均値	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.0	4.5
Q16 平均値	3.8	3.7	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
Q18 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4
Q19 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9
Q20 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.9	3.9	3.7	4.0
有効回答数	973			818			549		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.5	4.3
Q6 平均値	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	3.9	3.6	4.0	3.8	3.8	3.8	3.9	4.1	3.8
Q9 平均値	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5
Q12 平均値	3.8	4.2	3.6	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3
Q13 平均値	4.0	4.2	3.9	4.4	4.5	4.3	4.2	4.1	4.3
Q14 平均値	4.2	4.4	4.1	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	3.6	4.2	3.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.4
Q16 平均値	3.5	3.8	3.3	4.2	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3
Q17 平均値	4.0	4.2	3.9	4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.4
Q18 平均値	3.7	4.1	3.4	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4
Q19 平均値	3.6	3.8	3.4	3.9	4.0	3.8	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.7	3.9	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.1
Q21 平均値	3.6	3.8	3.5	3.9	4.0	3.8	3.9	3.9	3.9
有効回答数	584			597			2,261		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
Q6 平均値		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値		1.2	1.3	1.2	1.3	1.2	1.4	1.3	1.3	1.3
Q8 平均値		3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	3.8
Q9 平均値		4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.1
Q10 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.3
Q11 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.2
Q12 平均値		4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	3.9
Q13 平均値		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	3.8
Q14 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.1
Q15 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.2	4.4	4.5	4.2
Q16 平均値		4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	3.7
Q17 平均値		4.3	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.1
Q18 平均値		4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.0
Q19 平均値		3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.9	4.0	4.1	3.7
Q20 平均値		4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	3.8
Q21 平均値		3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.1	3.7
有効回答数		2,671			1,006			1,042		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
Q6 平均値		1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値		1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3
Q8 平均値		3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値		4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4
Q11 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3
Q12 平均値		4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値		4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値		4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値		3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	4.1	3.9	4.1	3.7
Q17 平均値		4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値		4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
Q19 平均値		3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8
Q20 平均値		3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9
Q21 平均値		3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.8
有効回答数		3,161			1,857			2,423		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.7	4.7	4.6	4.3	4.4	4.3
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q8 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2
Q9 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6
Q10 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	4.7
Q11 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.3	4.4	4.3	4.4
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4
Q14 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.6	4.5	4.5	4.6
Q15 平均値	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.8	4.6	4.5	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.7	4.4	4.3	4.4
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6
Q19 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.4	4.1	4.1	4.2
Q20 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.5	4.3	4.2	4.3
Q21 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	4.4	4.1	4.0	4.2
有効回答数	1,586			815			1,311		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
Q6 平均値	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2
Q7 平均値	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	3.6	3.6	3.6	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.0
Q9 平均値	4.3	4.1	4.4	4.5	4.6	4.4	4.6	4.7	4.5
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.5
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.4
Q12 平均値	4.1	4.2	4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	4.5	4.2
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.3
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3	4.7	4.7	4.5
Q15 平均値	4.1	4.4	4.0	4.4	4.5	4.2	4.6	4.7	4.4
Q16 平均値	3.9	4.2	3.8	4.2	4.3	4.1	4.3	4.4	4.1
Q17 平均値	4.1	4.2	4.1	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4
Q19 平均値	3.7	3.7	3.6	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1
Q20 平均値	3.8	3.8	3.8	4.1	4.1	4.1	4.4	4.5	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	4.0	4.0	3.9	4.1	4.2	4.0
有効回答数	3,218			1,283			869		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3
Q6 平均値	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.1	1.2	1.1
Q7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.5	1.1	1.2	1.1
Q8 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	4.1	4.4	4.4	4.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.5
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.5
Q11 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5
Q12 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	4.1	4.5	4.6	4.5
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.5	4.6	4.4
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4
Q17 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5
Q18 平均値	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.5	4.5	4.4
Q20 平均値	3.9	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	4.5	4.5	4.4
Q21 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0	4.4	4.4	4.3
有効回答数	4,584			2,195			1,726		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値	1.1	1.2	1.1
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	3.9	3.9	3.9
Q9 平均値	4.6	4.7	4.5
Q10 平均値	4.6	4.7	4.6
Q11 平均値	4.5	4.6	4.4
Q12 平均値	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4
Q16 平均値	4.2	4.3	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値	4.3	4.4	4.3
Q19 平均値	4.1	4.2	4.0
Q20 平均値	4.1	4.0	4.2
Q21 平均値	4.0	4.1	4.0
有効回答数	739		

「学生による授業アンケート（後期）」集計結果の概況について

2017年度の「学生による授業アンケート」（後期）は、昨年11月6日（月）から25日（土）の期間にかけて実施された。アンケートの方法及び内容は、前期と同じ形式で行われた。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で1,632科目、対象者数（延べ人数）は137,371人、有効回答数は50,905件で、学生回答率は37.1%であった。2014年度から始まったWEBによるアンケート調査（後期）の中で、最も学生回答率の低い結果となった。以下、全般的傾向について概況を述べていく。

学年別の回答率は、例年同様に学年が進むにつれて回答率が下がる傾向がみられ、1年生53.4%、2年生36.7%、3年生25.9%、4年生15.7%と昨年度後期の結果からみると全体的に減少している。

教員の所属別の学生回答率一覧をみると、仏教学部、文学部（国文・歴史・心理）と総合教育研究部（外国語第二部門・スポーツ・健康科学部門）が50%以上で、その中でもスポーツ・健康科学部門が、60%台と高い回答率を示した。回答率は履修学生数とも関係してくるが、全体の回収率が減少する中で、60%を超えたスポーツ・健康科学部門はかなり回収率が高いと言える。

専任・非常勤別の学生回収率は、専任担当科目36.8%、非常勤担当科目37.3%であり、非常勤担当科目の方が高いが、今年度前期に比べると専任44.4%、非常勤55.6%と差は小さくなっている。

アンケート対象科目を担当する教員のC-Learningへの最終ログイン状況（1月15日現在）をみると、専任の実施期間内のログインが16.1%、実施後のログインが59.9%で、未ログインが3.2%となっている。一方、非常勤では、実施期間内のログインが12.3%、実施後のログインが37.9%で、未ログインが14.6%となっている。中でも未ログインが、昨年度専任4.6%から3.2%、非常勤が20.8%から14.6%に改善されたことから、実施後のログインの向上に繋がったのではないかと考えられる。

質問項目については、前期と同じ項目数は24項目で実施された。具体的な内容は別途記載の通りである。

学生の出席状況（Q4）は、例年同様に1年生が4.4、2年生4.3、3年生4.2、4年生3.8で、学年が進むにつれて出席状況が悪くなる傾向がみられる。学部学科別では、医療健康科学部が4.7と高い結果をとっている。入試形態別では、指定校推薦の入学者が4.4と最も高い。

授業の開始（Q9）は、文学部地域文化、GMS、総合教育研究部から日本文化、スポーツ・健康科学、教職課程が4.6と最も高い結果であった。

授業回数の確保（Q10）は、全学部学科共に高い評価であったが、特にGMSは、4.7と最も高い結果であった。

教員の熱意・授業内容・運営（Q14～Q18）は、全ての項

目で学年があるにつれて若干ながら満足度が上昇する結果を示した。有効回答数が大きく異なるが、上級生の方が科目選択の自由度からこのような結果になったのではないだろうか。

以上が、2017年度「学生による授業アンケート」（後期）の分析結果である。今後の課題として、FD推進委員会小委員会の教育の質保証に関するワーキング・グループでは、低下した回収率を向上させるため、アンケート内容を見直し、学生へのフィードバックを充実させ、学生への関心を高める取り組みを行う必要がある。

本学の教育の質を保証し、向上していくためにも授業アンケートが更に役立たれるように今後さらなる検討が必要である。（岩本 哲也）

連載企画：よりよい教育のために

「新入生セミナー」を振り返る

総合教育研究部 准教授 内藤 寿子

2014年度から「新入生セミナー」が導入されるに際して、FD推進委員会及び全学共通科目教育運営委員会を中心に、この科目の性格について議論が交わされた。最終的に「新入生セミナー」とは、「すべての駒大生の共通の基盤を作ることを主眼」とする「初年次教育」と位置づけられ、現在に至っている。総合教育研究部所属の教員の場合、必ずしも毎年同じ学部学科の「新入生セミナー」を担当する訳ではない。わたくし自身、この4年間で3学科5クラスを受け持ってきたが、その過程で実感したことは、様々な個性を持った新入生が主体的に取り組み、かつ「すべての駒大生」として必要なスキルを学ぶことにつながる課題設定の難しさである。

今年度を例にあげれば、文学部社会学科社会学専攻の「新入生セミナー」では、「誕生日のニュース調査」のグループワークをおこなった。その理由は、大学の施設を利用しながら新しい人間関係を構築することができ、さらに基礎的なリテラシー能力を磨くことができる演習課題になりうると考えたからだ。

【グループワークの流れ】

*2017年6月21日：図書館での個別作業

- ①抽選により担当年を決定し、グループ分け。担当年の新聞縮刷版および新聞DBを使い、「自分の誕生日のニュース」について調査する。
- ②担当年の「自分の誕生日」に掲載された2種類の記事を選び、コピーを取る。
- ③担当年の出来事についてインターネットなどを利用して調査をし、3種類選ぶ。

*6月28日：グループでの作業

- ①図書館での調査をもとに、発表用資料を作成。発表用資料には、「担当年の出来事」（1グループ5種類）と「グル

ープ全員の誕生日のニュース」(1人1種類)を入れる。
②発表では、「自分の誕生日のニュース」ではなく、「グループメンバーの誕生日のニュース」を紹介する。そのため役割分担を決める。

*7月5日、12日、19日：グループ発表およびコメントシートの作成

この演習の第1回目、図書館の蔵書検索画面に戸惑う履修者も多かった。しかし、最終的には、「1978年」の火災の記事から報道におけるプライバシーの問題について指摘するグループや、「2001年」に導入された新幹線の新型車両の記事からIT化が進む現代社会の特徴について発表するグループなど、履修者それぞれが与えられた演習課題を自らの関心に結び付けて発展させていった。

「新生セミナー」において、いかなる課題を設定すればよいのか。授業の回数を重ねれば重ねるほど、悩みは深まる。だが「新生セミナー」とは、駒澤大学の新生ひとりひとりが持つ可能性と力を実感させてくれる場であり、今年度を振り返ってみた時、わたくしはそれを強く感じるのである。

学生が選ぶベスト・ティーチング賞授賞式

去る平成29年12月22日(金)午後12時10分より中央講堂において、第2回「学生が選ぶベスト・ティーチング賞(以下、BTA:Best Teaching Award)」の授賞式が行われた。BTAの趣旨は、学生が運営し学生の投票によって受講者側からの評価を明らかにし、授業を行う教員を励まし、より良い授業の方法等を共有することにある。学生が運営し受講学生が評価するから「学生が選ぶ」という語が冠せられ、教員個人の人気投票ではなく、あくまで良き授業の評価であるから「Teacher」ではなく「Teaching」という語が選ばれている。

今年度のBTAは、後期の「学生による授業アンケート」にあわせC-Learningを用いて11月6日から25日に投票が行われた。運営にあたる学生FDスタッフ11名の内訳は文学部1名、法学部4名、経営学部1名、GMS学部5名であった。そして、投票結果に基づく学生FDスタッフによる銓衡、およびFD推進委員会の了承のもと、下記の4講義が選ばれた。

- | | |
|----------|---------------------|
| 「刑法総論」 | 富樫 景子 先生 |
| | (法学部法律学科・専任) |
| 「経営戦略論」 | 中村 公一 先生 |
| | (経営学部経営学科・専任) |
| 「経済学入門a」 | 矢野 浩一 先生 |
| | (経済学部経済学科・専任) |
| 「英語IAb」 | フレンチ ナサニエル 先生 |
| | (総合教育研究部第一外国語部門・専任) |

受賞者には、FD推進委員会委員長である学長の長谷部八朗先生から表彰状が授与され、学生FDスタッフから花

束が贈呈された。中村公一先生は昨年度の第1回に続く再度の受賞であり、フレンチ ナサニエル先生の受賞は、履修者が100名を下回る小規模な授業としては初のものとなった。なお、後日(平成30年2月1日)の第2回FD研修会において各受賞者にご講演頂く事になっていたため、当日のスピーチは簡略なものであった。

なお、今後の課題として、社会科学分野や今回受賞した語学分野のみならず、人文科学や自然科学分野、あるいはスポーツ健康分野など、幅広い分野からすぐれた授業をいかに顕彰するかということがあり、次回以降、そのための銓衡方法が検討されるべきであろう。

(岩永 正晴)



(授賞式の様子)

平成29年度第2回FD研修会報告

平成29年度の第2回FD研修会は、2月1日(木)16時20分~17時50分、中央講堂で行われました。今回は「H29年度 学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞の4名の先生方が、授業運営の工夫等についてお話をしてくださいました。はじめに長谷部学長先生より、ベスト・ティーチング賞の位置づけ等についてお話をいただいた後に、富樫景子先生(法)、中村公一先生(経営)、矢野浩一先生(経済)、フレンチ・ナサニエル先生(総合)の順に、質疑応答を交えて、お話いただきました。

富樫先生(「刑法総論」)は、①授業環境づくり、②事例提示、③法律用語の解説、④自習ノート作成、⑤身近な事件解説、⑥教員自身が楽しむこと、等についてお話くださいました。

中村先生(「経営戦略論」)は、①レジュメ配布、②具体的ケースや学生に身近なマンガを例に使用、③学生にアイデアを提出させる、⑤教員自身が楽しむ、等についてお話くださいました。

矢野先生(「経済学入門a」)は、①身近な例や図表・イラストの使用、②基礎から時間をかけて指導、③教員が面白いと思うことを扱う、等についてお話くださいました。

フレンチ先生(「英語IAb」)は、①英語とスポーツの類似点、②流暢さの育成、③楽しさの重要性、等について、

授業風景ビデオを使用してお話くださいました。

今回お話くださった先生方の共通点として私が感じたことは、「先生方御自身が楽しみながら授業をされていて、学生にもその楽しさが伝わるように、常に創意工夫をされている」という点です。お話をうかがいながら、「確かに教員自身が授業を楽しめなければ、学生に授業の楽しさを伝えることはできないな」と、自身の授業を振り返り、反省した次第です。

その一方で、課題として複数の先生方が示唆された（と私が感じた）のは、授業内容に興味をもった学生達を、その次のステップである自発的学習者へと導いていくことの難しさです。この点は、私も英語を教えていて常に悩まされます。学生が興味をもってくれそうな題材を使用して授業を行いますと、学生達はそれなりに楽しんで授業に取り組んでくれるように見えます。しかし、ではそんな彼らが授業外で自発的学習に取り組んでくれるかという、なかなかそうはいきません。「授業が終われば、もはや勉強しない」のでは、進歩も限られてしまいます。

「どのような授業が、学生達を自発的学習に導くことができるか」という課題は、科目を問わず、今後もFDの重要な課題でありつづけるのではないかなと、研修会を通じ感じました。

(FD推進委員会小委員会副委員長 杉森 建太郎)



(研修会の様子)

平成 30 年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「平成 30 年度新規採用教員オリエンテーション」を、平成 30 年 4 月 2 日（月）に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただくこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

編集後記

FD NEWSLETTER 第 54 号をお届けします。

巻頭言は、総合教育研究部でFD推進委員会小委員会の委員長の西村祐子先生にご執筆頂きました。また、連載企画「よりよい教育のために」は、総合教育研究部日本文化部門の内藤寿子先生、第 2 回 FD 研修会は、GMS 学部の杉森建太郎先生、ベスト・ティーチング賞授賞式については、仏教学部の岩永正晴先生にそれぞれご執筆頂きました。年度末のご多忙の中、ご執筆頂きました先生方に心より感謝申し上げます。

第 54 号では、「学生による授業アンケート」（後期）の集計結果で、WEB によるアンケート調査に変更したことでの利便性はあるが、回収率の低さが浮き彫りとなりました。WEB による利便性以外のメリットも今後見出していく必要があるだろうと考えます。

改めて、本学のFD憲章である常に新しい教育方法を模索し、教育活動の質の向上と改善に努め、本学の教職員がFD活動に関心を持つことで、教育活動を発展させるであろうと思います。

今年度、夏休み期間中に在外研究を終えて帰国し、初めてのFD推進委員会活動を始めました。まだまだ慣れておらず、前任の先生から教えを受けながら、なんとかこなしている状態です。毎月の委員会活動、FD ニュースレターの編集などを期に、FD 活動とは何なのか？どうあるべきか？ということをも改めて考え直すことになり、これが私自身にとってはとてもよいFDになっていると感じています。

このニュースレターをじっくり読んでいただくことは、なかなかないのかもしれませんが、「FD 活動とは何であったか？」と、ふと疑問に思ったときに読み返していただくと、各先生方の記事はたいへん示唆に富んでおり、このニュースレターもきっと何かお役に立つのではと思っています。

(坂野井和代、岩本哲也)

【タイトル横の写真は、駒沢キャンパス北門・8号館付近】

FD NEWSLETTER Mar. 2018 第 54 号

発行日：2018 年 3 月 15 日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)